

日本ユニシスグループ 事業概況資料(2008年3月期上半期)

2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月7日

日本ユニシス株式会社



金融分野(第一事業部門)

主な戦略と取り組み

主な戦略

金融ソリューションを軸としたビジネス展開
 新金融ビジネスモデルの発掘
 サービスビジネス収益構造改革
 リソースマネジメントの強化

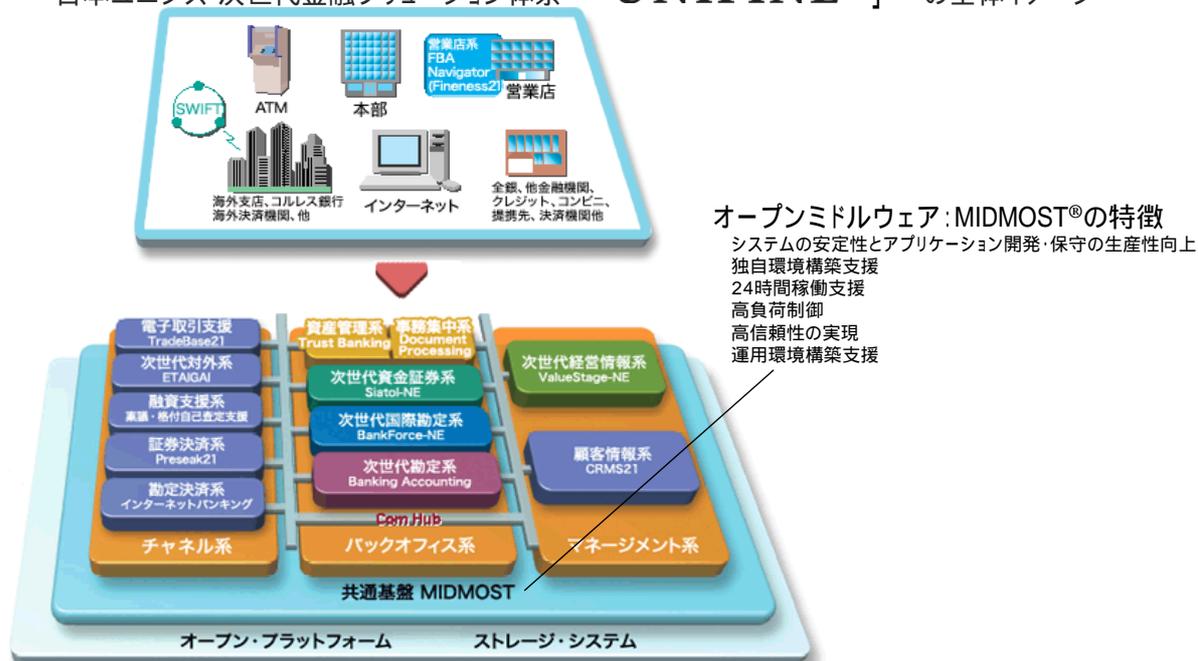
2008年3月期上半期の主な取り組み

- 2007年 5月 世界初、Windows® Server、SQL Serverを基盤としたフルバンキングシステムが百五銀行で稼働開始
- 2007年 5月 きらやか銀行(殖産銀行、山形しあわせ銀行の合併行)、第二地銀アウトソーシングセンターでアウトソーシングが稼働開始
- 2007年 7月 兵庫信用金庫、信金西日本ソリューションセンターでアウトソーシングが稼働開始
- 2007年 8月 埼玉縣信用金庫、日本ユニシス金融機関で初めての、積層ICタグを活用した「メール管理システム」が稼働開始
- 2007年 9月 山梨中央銀行が「次世代オープン勘定系システム『BankVision ®』の採用を決定

金融分野のソリューション(1)

オープン・プラットフォーム上での金融ソリューションプロダクトの提供

日本ユニシス 次世代金融ソリューション体系「UNIFINE®」の全体イメージ



金融分野のソリューション(2)

日本ユニシス 次世代金融ソリューション体系 「UNIFINE」の強み

オープン・プラットフォームで全ての金融業務系システム構築が可能
共通基盤「MIDMOST」の採用により標準ソリューション・パッケージの提供が可能
ソリューション・パッケージ間の統一性を確保
新制度、新基準への対応
従来のソリューション・パッケージからの継続性を確保



次世代資金証券系システム「Siatol-NE」

STP、ペーパーレス化等の証券決済制度改革、運用対象商品の拡大等に対応した市場系業務ソリューション・パッケージ
Windowsをプラットフォームとして採用することで、ハードウェアの導入と運用にかかるコストの低減をはかり、WEB技術をはじめとする最新のIT技術への柔軟な対応を実現
地方銀行では約5割のシェアを持ち、メガバンクやその他大手金融機関でも採用されている資金証券システムでの経験とノウハウをベースに開発
現在地方銀行を中心に28金融機関で採用内定(内12金融機関にて稼働済み)

基幹業務系アウトソーシングビジネスの推進

地方銀行向け勘定系アウトソーシングビジネス

- 百五銀行(2007年5月稼働)をモデル行としたアウトソーシングビジネス展開
- 次世代オープン勘定系システム「BankVision」の開発
- 2007年9月山梨中央銀行が「BankVision」採用を決定し、採用決定行は7行に
- 地方銀行20行の採用を目指す

第二地方銀行向け勘定系アウトソーシングビジネス

- 第二地銀アウトソーシングセンター(東北バンキングシステム)
福島、大光、きらやか銀行が加盟。順調に稼働中

信用金庫向け勘定系アウトソーシングセンター

- 北海道地区共同利用型アウトソーシングセンター
北海道地区の6信用金庫が利用し、稼働中
- 東京地区信金共同利用型アウトソーシングセンター(SBOC東京)
平塚、豊川に加え、2007年1月に湘南、西武信金で稼働し、4信用金庫で稼働中
- 信金西日本ソリューションセンター(SC-WEST)
金沢、尼崎、さらに2007年5月に兵庫信金で稼働。現在3信用金庫で稼働中

製造・商業流通分野(第二事業部門)

主な戦略と取り組み

主な戦略

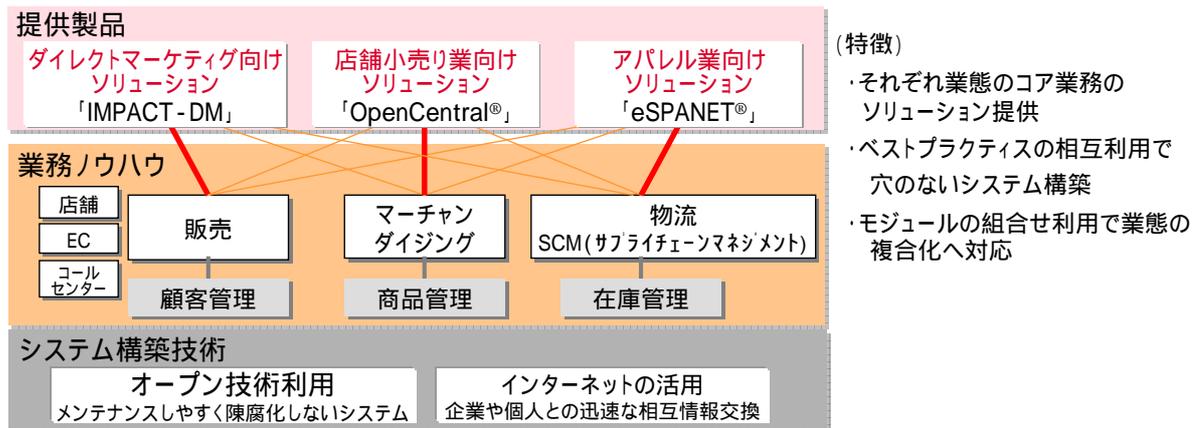
ソリューションを核としたビジネス展開
 ビジネス系とエンジニアリング系の統合による相乗効果醸成
 『Netezza®』 拡販プロジェクトの推進

2008年3月期上半期の主な取り組み

- 2007年 4月 美祿(みね)社会復帰促進センター『処遇情報管理システム』稼働
 - 情報システム維持管理業務を開始
- 2007年 5月 ワールド次期基幹系システム『IMPACT®-DM FF3』稼働
 - パッケージ版としての第一号ユーザー
- 2007年 6月 三井物産鋼材販売『Web鋼材販売システム』本番稼働
 - 鋼材卸業界向けに、受発注システムをWebベースにて開発
- 2007年 9月 昭和シェル石油『新人事システム基盤』を構築
 - SAPジャパンとの連携により、「SAP® ERP HCM」を導入

製造・商業・流通分野のソリューション

商業・流通系ソリューション製品



製造系ソリューション製品



共通製品



新ビジネスモデル ～三井物産との協業による鋼材卸業界向け経営改革～

鋼材卸業界向け『Web鋼材販売システム』

- NULの「電子商取引システム」、「Webシステム」のノウハウをベースに開発
- 三井物産(鉄鋼製品本部)と、該社関連鋼材卸企業向けにビジネス協業
- 基幹系システムでも、SIT社(大同特殊鋼の情報システム子会社)とビジネス協業
- 本年4月にリリース、6月に三井物産鋼材販売(株)を第一号ユーザーとして本番稼働

鋼材卸企業に加え、鋼材2次加工企業も対象としたマーケット拡大に大きな期待

システム概要および特徴

鋼材卸企業における受発注業務の効率化

- ・発注者側機能の提供(従来システムは、受注者側主体)
- ・電話/FAXによる業務のシステム化

仲間企業間における在庫情報の共有

- ・在庫商品の販売機会増大化による在庫の削減 バランスシートの軽量化

管理機能の充実

- ・単独稼働または基幹系システム連携稼働におけるデータ連携、他顧客向け管理の仕組みを提供

将来展望

- ・在庫共有、最適配送(運送/倉庫会社との協業)、需要予測、与信情報サービス、
経理処理代行(相殺等) 他

新規顧客・新規分野のビジネス開拓

『Netezza』() 拡販専任部隊の設置

既存のユーザモデルをリファレンスとした横展開で大幅拡販を狙う

【業種共通商品】

データウェアハウス専用アプライアンス『Netezza Performance Server®』

日本ユニシスは、ネティーズ社の国内で最初の販売パートナーであり、
ユニアデックスは『Netezza』の国内サポートサービスを実施
企画・技術・営業 総勢30名の体制で『Netezza』ビジネスを推進



Netezzaの主な機能、性能

1. 簡易性
サーバ + ストレージ + データベースを一体化した「データウェアハウスアプライアンス」
データウェアハウス特有の物理設計やチューニングが一切不要で、すぐに使えて管理が容易
2. 高パフォーマンス
新しいテクノロジー、価値観を導入し、従来の大規模データウェアハウスシステムに比べ、
驚異的なパフォーマンス(10倍～100倍)を実現
3. 低コスト
従来の同機能のデータウェアハウスシステムに比べて、初期導入コストが低減
初期導入コストと継続的なランニングコストの削減で低いTCOを実現

官公庁分野(第三事業部門)

主な戦略と取り組み

主な戦略

現行ユーザー基盤の最適化推進による維持/拡大
新たな収益基盤づくりのための中長期ビジネス展開
戦略的ソリューションビジネスの推進

2008年3月期上半期の主な取り組み

- 2007年6月 「中日本高速道路の顧客対応支援(コールセンター)システム」
- 西日本高速道路の受注に続き、民営化対応システム案件を新規受注
- 2007年6月 「国土交通省の航空安全情報管理・提供システム」
- 安心・安全な社会の実現に向けた運輸行政(航空局)の情報管理システムを受注
- 2007年8月 「経済産業省の平成19年度流通システム標準化事業」
- 次世代標準EDIに対応した物流ラベル等の標準化に関する調査研究を受託
- 2007年9月 「郵便貯金・簡易生命保険管理機構のUniCity®文書管理システム」
- 文書管理・情報公開システムの郵政民営化対応

官公庁分野のソリューション

電子自治体ソリューション UniCity®

事務の効率化と行政事務の簡素化および住民、企業に対する行政サービスの向上に向けて「UniCity 総合文書管理システム」をはじめとした各種行政向けソリューションを提供

上下水道業務ソリューション e-WaterWorks®

コンポーネント化技術を採用したWindowsベースのオープンシステム
札幌市水道局より開発業務を委託された「次期上下水道料金オンラインシステム」をベースに商品化
京都市上下水道局への採用も決定し、全国の水道事業体をターゲットに拡販中

e-WaterWorksの特徴と機能概要図

顧客中心の情報管理により利用者サービスと業務効率を向上
水道業務に必要な業務サービスを部品化し、料金改定など業務変更にも柔軟な対応が可能
統計情報のデータベース化によりきめ細かな経営分析・管理を実現



電力・サービス分野 (第四事業部門)

主な戦略と取り組み

主な戦略

ターゲット・マーケット・セールス推進
 ミッションクリティカル分野でのオープン化対応
 サービスマネジメント分野への注力

2008年3月期上半期の主な取り組み

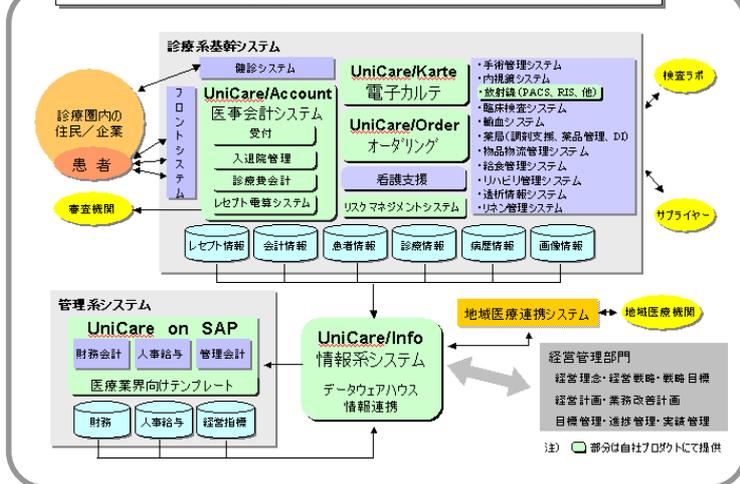
- 2007年 4月 「匝瑳(そうさ)市民総合病院(UniCare®医事会計システム)」本番稼働
 - 9月からはオーダーリングシステム(外来/病棟処方)が稼働開始
- 2007年 5月 「京葉ガス(CISサーバーリプレイス)」本番稼働
 - 基幹系システム(お客さま情報)をUNIXサーバーからES7000×4台にリプレイス
- 2007年 7月 「松山市民病院(UniCareオーダーリングシステム)」本番稼働
- 2007年 7月 「製造業とサービス産業の共創」を主題とした、
 Service Industry Consortium 2007を東京(7/11)・大阪(7/18)にて開催

サービス分野のソリューション

総合医療情報システム UniCare® シリーズ

- UniCare® / Karte : 真正性・見読性・保存性を遵守した診療録モジュール
- UniCare® / Order : オーダリング(検査・処方等に係る情報伝達)モジュール
- UniCare® / Account : 上記モジュールとシームレスに連携する医事会計モジュール

日本ユニシスが提供する医療情報システム範囲



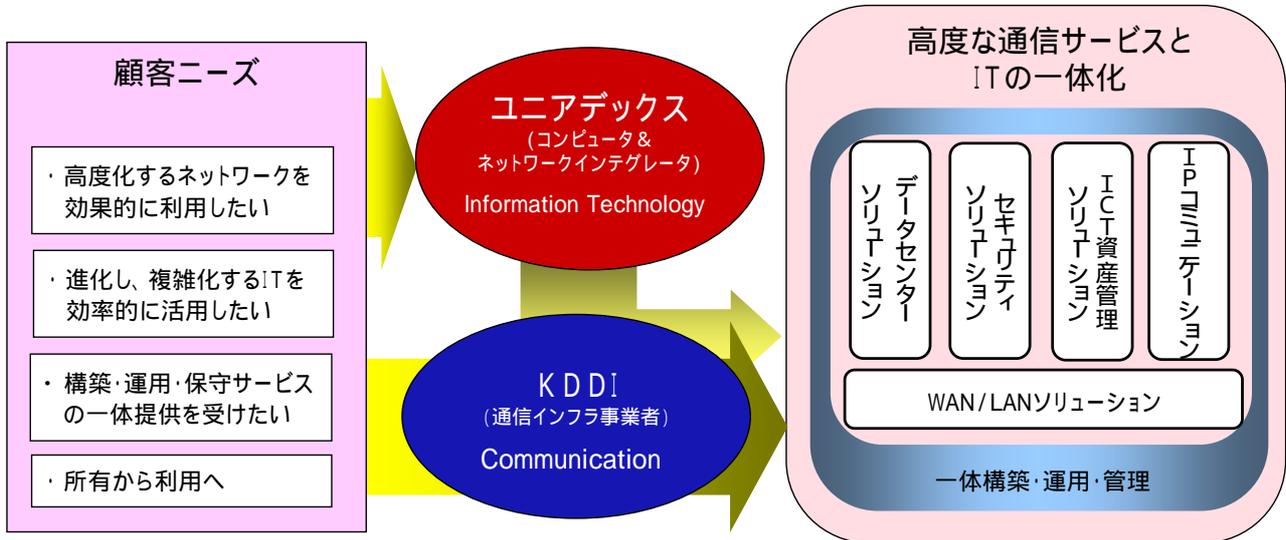
UniCareシリーズの主な特徴

- 簡易入力
 テンプレート入力による記入漏れ/ケアレスミス
 の防止、入力の簡易化を実現
- 統合データベースによるシームレスな一体管理
 電子カルテ時代に真に求められる情報管理
 形態を業界の常識に逆らった一体型で実現
 (カルテとレセプトの整合性を保持)
- 独自の導入手法
 電子カルテ導入の阻害要因であった保存分類
 の方法論を確立し、これをサービス化
- EXCEL等によるデータの活用
 各社への不満の元凶となっていた「データは
 お客様のもの」の実現

ネットワーク分野(ユニアデックス、ネットマークス)

企業向けICTソリューションサービスをワンストップで提供

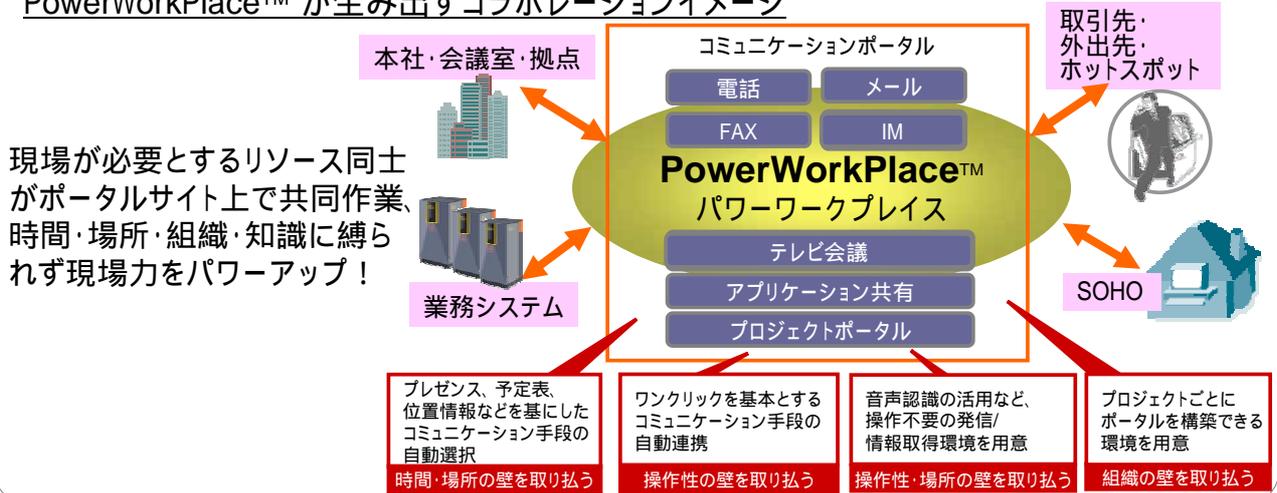
- ・ KDDIとユニアデックスが提携、ICT環境の構築から保守運用までを提供
- これまでKDDIが参入していなかった顧客企業内ネットワーク(LAN)関連ビジネスにおいて、ユニアデックスのICTソリューションサービス(ICT環境の設計・構築・保守・運用)をKDDIが販売
- これによりKDDIは、WAN～LANまでを包括したICTソリューションサービスをワンストップで提供可能に



新コンセプト「PowerWorkPlace™」を共同発表

- ・ ネットマークス + ユニアデックスでのICT基盤構築ビジネス連携強化の第一弾
- ・ 「PowerWorkPlace™」(パワーワークプレイス)とは、「ビジネス上でパワフルな働く環境」を「コミュニケーション」、「モビリティ」、「コラボレーション」という点からソリューション化し、ワークスタイル革新を推進
- ・ 今後2年間で、関連するソリューション群を投入し、日本ユニシスグループの新ブランド商品として完成させる

PowerWorkPlace™ が生み出すコラボレーションイメージ



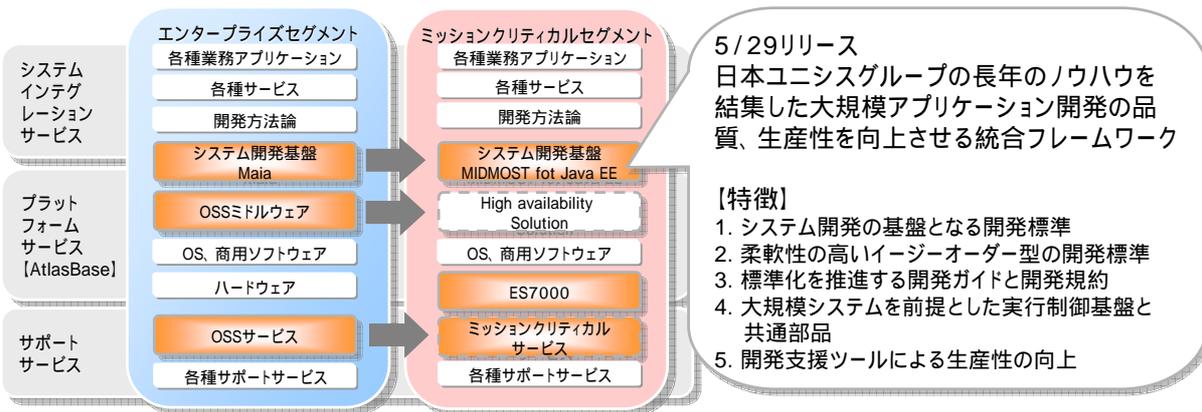
技術分野(業種共通)

OSS(オープンソースソフトウェア)ビジネスへの取り組み

• オープンソースビジネス推進

- アプリケーション開発
 - 5/29に「MIDMOST for JavaEE」をリリース。大規模アプリケーション開発に対応。
 - オープンソースフレームワークの適用推進中(3件)
- プラットフォーム:大規模システム開発において、Linux基盤を提供するための基盤検証を実施中
- サポートサービス強化:高スキルエンジニア育成のため、米Unisysと連携してサポート体制を強化

OSSサービス、プラットフォーム、サポートサービスを順次リリース予定。



5/29リリース
日本ユニシスグループの長年のノウハウを結集した大規模アプリケーション開発の品質、生産性を向上させる統合フレームワーク

- 【特徴】
1. システム開発の基盤となる開発標準
 2. 柔軟性の高いオーダー型の開発標準
 3. 標準化を推進する開発ガイドと開発規約
 4. 大規模システムを前提とした実行制御基盤と共通部品
 5. 開発支援ツールによる生産性の向上

オラクルアプリケーションビジネスへの取り組み

- ・日本ユニシスの強み1 ERPとCRMでオラクルアプリケーション導入実績 100社超
- ・日本ユニシスの強み2 テクノロジー製品部門、アプリケーション部門共にオラクル社よりACSP() 認定された高品質のサポート体制 ACSP: Advanced Certified Support Partner
- ・日本ユニシスの強み3 専任のセールス・マーケティング体制によるオラクル社との強力な協業推進

新たな展開によるビジネスの推進

- ・既存ユーザーIT基盤の次世代化の推進 (E-Business Suite アップグレードサービス展開)
- ・平成19年度税制改正への対応ソリューション提供 (自社製の固定資産管理テンプレート FaSet FA)
- ・自社システムにおける次世代アプリケーションプラットフォーム提案の先行事例作り
- ・オラクル社製品戦略への関与やオラクルユーザーコミュニティとの連携 (弊社CIOの日本OAUG()会長就任と分科会活動への積極参加) OAUG: Oracle Applications Users Group

当上期の受注
計画比 114%

将来ビジョン

- ・ビジネスプロセス指向のパッケージ導入方法論の普及
- ・SOAに基づくアプリケーションプラットフォームの提供
- ・コアアプリケーション(ERP、SCM、CRM)と業種別ソリューションをSOA連携した高付加価値システムの提案

新たなプラットフォームビジネス展開により、顧客に深く長く価値を提供するIT戦略パートナーへ



U&U
Users & Unisys

UNISYS

(注) 本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

2008年3月期 上半期の主なニュースリリース

日本ユニシス株式会社

発表日	内 容
1 4月11日	<p>業界に先駆け、Microsoft® Office SharePoint® Server 2007 技術者育成プログラムを運営開始</p> <p>～ Windows®系の高スキル技術者育成に注力～</p> <p>日本ユニシスは、マイクロソフトの「Microsoft Office SharePoint Server 2007」を利用したシステム構築、運用およびサポートを担当する技術者育成プログラムを業界に先駆け実施し、継続的な取り組みとして本格的に運営しています。日本ユニシスでは、2002年の.NET専任組織を発足して以来、ミッションクリティカル系から情報系まで幅広いシステム分野に対し、積極的に取り組んできました。本プログラムは、日本ユニシスがマイクロソフトの協力のもと、運営するもので、ワークショップ形式のオリジナルコンテンツで構成しています。日本ユニシスは、今後も本プログラムを定期的に開催し、今後のSharePointビジネスのさらなる拡大に向け、安定したサービスを提供していきます。</p>
2 4月13日	<p>日本ミルクコミュニティで経営統合システム「MEGMIS(メグミス)」稼働開始</p> <p>～ 生産・販売活動の個別収益管理までを実現～</p> <p>日本ミルクコミュニティは、日本ユニシス、富士通、全農ビジネスサポートとの共同プロジェクトで、生産・販売活動における個別収益管理までを可能にした経営統合システム「MEGMIS(MEGMILK Management Information System)を2月19日に稼働開始しました。本システムの稼働により、「MEGMILK」ブランドの確立と、効率的な生産物流体制の構築に向けた管理体制が整備されたこととなります。</p> <p>日本ミルクコミュニティでは2005年3月から、ITベンダー3社と共同で、受発注処理から生産物流、営業、財務会計、人事、管理会計のすべての情報がリアルタイムに、しかも一貫して把握できる経営統合システムの構築に着手しました。開発工数4,300人月超、開発期間1年10カ月をかけ、本年2月19日に「MEGMIS」の全面稼働に至りました。</p>
3 5月7日	<p>世界初、Windows Server®, SQL Server™を基盤としたフルバンキングシステムが百五銀行で稼働開始</p> <p>～ 百五銀行は地域トップ地銀として、お客様に最先端サービスと商品を提供～</p> <p>百五銀行(本店:三重県津市)は、日本ユニシスと共同開発した勘定系システム「BankVision®(バンクビジョン)」を使用し、昨日から業務を開始しました。「BankVision」は、マイクロソフトが提供するWindows Server、およびSQL Serverを基盤に開発した「次世代オープン勘定系システム」です。百五銀行は、今回新しく稼働した勘定系システムを使用し、より付加価値の高い、お客様に最適の新サービスをタイムリーに提供することが可能になり、中部地区のトップ地銀としての地位を強固なものにしていきます。</p> <p>「BankVision」は百五銀行の業務ノウハウと、S-BITSコンソーシアムで研究した機能要件をベースに、日本ユニシスが長年、銀行勘定系システム構築で培ってきた技術やノウハウを融合し、マイクロソフトのWindows ServerとSQL Serverを基盤とした世界初のフルバンキングシステムです。また「BankVision」は、日本ユニシスが他社に先駆け、オブジェクト開発手法とサービス指向アーキテクチャ(SOA)の考え方を採用して構築したコンポーネントベースの最先端銀行勘定系システムです。従来、汎用機でしか実現できなかった、瞬時の切替処理を始めとする堅牢な障害対策と「24時間365日ノンストップ稼働」をオープン機で実現しています。</p>
4 5月23日	<p>マルチコードプラットフォームの実用化のために、「東京ユビキタス計画・銀座」実証実験に参加</p> <p>～ 携帯端末用JavaScriptエンジンと関連サーバーを期間中、参加団体向けに公開～</p> <p>日本ユニシスは、マルチコードプラットフォームを活用したソリューション(例えば小売現場における販売促進ソリューションや、まちづくりソリューションなど)の実証実験のために、「東京ユビキタス計画・銀座」に参加します。</p> <p>また、実証実験で使用される携帯端末(ユビキタス・コミュニケータ、以下UC)で動作するJavaScriptエンジンと、街中や店頭を設置したucode ICタグやucodeマーカーなどの場所情報とコンテンツ情報を関連付けるucode解決ゲートウェイとucode解決サーバーを、「東京ユビキタス計画・銀座」の開催期間中、これらの実用性を検証するため同実証実験参加団体向けに公開します。</p>
5 5月29日	<p>大規模Webアプリケーション構築の生産性と品質を高める 統合フレームワーク製品「MIDMOST® for Java™ EE」を販売開始</p> <p>日本ユニシスは、企業のWebアプリケーション構築を効率的に進めるための統合フレームワーク製品「MIDMOST for Java EE」を開発し、販売を開始します。</p> <p>「MIDMOST for Java EE」は、日本ユニシスがこれまでの大規模開発プロジェクトで蓄積してきた知見やノウハウを開発標準として体系的に集大成した統合フレームワーク製品です。「MIDMOST for Java EE」は、Java EEの仕様に準拠しており、JBossやBEA WebLogic Serverなどの業界標準のアプリケーションサーバーに対応しています。日本ユニシスは、「MIDMOST for Java EE」をベースとして、今後拡大すると見込まれるオープンソースを活用したシステム開発に対し、より付加価値の高い、最適なシステムインテグレーション・サービスを提供していきます。</p>

発表日	内 容
6 6月13日	<p>日本ユニシスグループとネットマークス社の業務提携内容のお知らせ</p> <p>日本ユニシスとネットマークスは、2007年5月31日に完了した日本ユニシスによるネットマークスの株式及び新株予約権の公開買付けに伴い、システムインテグレーション及びネットワークインテグレーションの両事業における業務提携内容を決定しました。それぞれの企業が実施してきた下記の3事業を有機的に連携させることで、今後の企業システム・ネットワーク構築においてフルラインでのソリューション・サービス力の強化を図ると同時に、コストシナジーの実現を目指します。</p> <p>日本ユニシス:システムインテグレーション事業分野、特に経営課題に直結する上流サービスからのアプローチにおいてフルラインワンストップサービスの提供。高品質な企業システムの構築。</p> <p>ユニアデックス:国内最大規模のマルチベンダーICTサービス基盤の提供。最先端技術を駆使したネットワークインテグレーションサービスの提供。長期に渡るストック型サービスを構築・提供。</p> <p>ネットマークス:ネットワーク分野の営業力、基盤技術力、特にIPテレフォニー分野でのマーケティング・技術力をベースとしたソリューションの提供。</p>
7 6月25日	<p>実業団女子バドミントン部を創部</p> <p>～ 女性活躍推進のシンボルに位置づけ、日本のトップチームを目指す ～</p> <p>日本ユニシスは、日本バドミントン界の現チャンピオンチームである男子チームに続き、「実業団女子バドミントン部」を、7月2日に創部します。</p> <p>創部にあたっては、日本のトップチームを目指す実業団チームとして初めての女性監督を起用、コーチなどスタッフ陣についても女性中心の編成を行い、女性の活躍推進のシンボルの存在となるチームを目指していきます。</p>
8 7月25日	<p>クアッドコア・プロセッサを搭載し、処理性能を50%向上したエンタープライズサーバー中小型機を販売開始「Unisys ClearPath® Plus Server CS400L シリーズ」を提供</p> <p>日本ユニシスは、エンタープライズサーバー中小型機「CS400Lシリーズ」を本日から販売開始します。本シリーズは、インテル®クアッドコア・プロセッサを搭載し、処理性能を前機種と比較して約50%向上させています。</p> <p>「CS400Lシリーズ」は、「CS300Lシリーズ」の後継機に位置付けられる機種です。本シリーズでは、処理性能を向上させ、さらにカートリッジテープ装置として高い信頼性を持つLTO(Linear Tape Open)Ultriumテープ装置を基本パッケージに含めているため、安全かつ効率的なデータの外部保管を可能にしています。また、提供メモリ容量や内蔵ディスク容量の増大化を図り、顧客の運用効率と価格性能比を大幅に向上したシリーズです。</p>
9 8月3日	<p>埼玉縣信用金庫が金融機関で初めて積層ICタグを活用した「メール管理システム」を稼働開始</p> <p>～ お客様の個人情報、機密情報を厳正に管理 ～</p> <p>埼玉縣信金は、日本ユニシスと共同開発した「金庫内メール管理システム」を7月から全面稼働させました。同金庫内の「メール仕分けセンター」で扱う大半のメール便書類袋(封筒、布袋、透明フォルダなど)にICタグを貼付し、作業効率の向上を図るとともに、書類の配送洩れ、誤配送等事故の未然防止を徹底し、地域のお客様から預かった個人情報、機密情報を厳正に管理しています。</p>
10 9月5日	<p>ネットマークス、ユニアデックス、ICT基盤構築ビジネスで連携強化</p> <p>～ 新コンセプト「PowerWorkPlace™」(パワーワークプレイス)事業を推進 ～</p> <p>ネットマークスとユニアデックスは、ネットマークスが戦略的重要パートナーとして今年6月から日本ユニシスグループになったことを受け、ICT(Information & Communication Technology)基盤構築ビジネスで連携を強化していきます。両社のシナジーにより、顧客企業の生産性向上に向けたソリューションを共同で提供し、日本ユニシスグループ全体のICTビジネス拡大をリードしていきます。この一環として、企業のワークスタイル変革を目指す新コンセプト「PowerWorkPlace™」(パワーワークプレイス)を共同で立ち上げ、今後2年間に関連するソリューション群を投入し、日本ユニシスグループの新ブランド商品として完成させていきます。そして3年後に「PowerWorkPlace」事業として200億円規模の売上を目指します。</p>
11 9月10日	<p>山梨中央銀行が「次世代オープン勘定系システム「BankVision」」の採用を決定</p> <p>日本ユニシスは、山梨中央銀行から、同行の次期勘定系システムに日本ユニシスが提供する「次世代オープン勘定系システム「BankVision」」を採用する決定を受けました。これにより地方銀行における「BankVision」採用ユーザーは7行になります。</p> <p>今後、日本ユニシスと山梨中央銀行は、日本ユニシスが提供する共同形態でのアウトソーシングサービス利用を視野に入れ、移行方法、スケジュールなどについて協議を進めていきます。</p>
12 9月26日	<p>昭和シェル石油の新人事システム基盤の構築を実現</p> <p>～ SAP® ERP HCM(Human Capital Management)を導入し、効果的な人事マネジメントを支援 ～</p> <p>日本ユニシスとSAPジャパンは、昭和シェル石油の将来に向けた人事ビジョンの実現を目指し、新人事システム基盤を構築しました。昭和シェル石油は、2003年より全社的な情報システム基盤の整備として、SAP ERPを採用しています。このたび、人事機能の充実を図り、将来を見据えた新人事システム基盤を構築するため、SAP ERP HCMを導入しました。</p> <p>日本ユニシスは、SAP ERP HCMの豊富な実績を評価され、システム導入パートナーに選ばれ、新人事システム構築プロジェクトを総括し、業務の実態に沿った必要最低限の追加開発への絞込みを成功させ、低コストで短期間導入を実現しました。</p>